

# 白峯神宮奉納演武

参加流派 32 参加人数 137 名

- 1 神道夢想流杖術／一角流十手術／一心流鎖鎌術（江角 和敏）
- 2 小野派一刀流劍術（笹森 ゆき子）
- 3 鞍馬流劍術（柴田 章雄）
- 4 荒木流軍用小具足（千葉 明）
- 5 関口新心流柔術（関口 芳夫）
- 6 風傳流槍術（渡邊 桂一）
- 7 神夢想林崎流居合術（笹森 ゆき子）
- 8 夢想神伝流居合術（高橋 次秀）
- 9 天真正伝香取神道流兵法（飯篠 宏太）
- 10 田宮流居合術（妻木 達夫）
- 11 真蔭流柔術（宇佐美 裕司）
- 12 兵法タイ捨流（上原 エリ子）
- 13 立身流（加藤 紘）
- 14 細川家伝統兵法二天一流（宮田 和宏）
- 15 無限神刀流居合術（平岡 祥淑）
- 16 宝蔵院流高田派槍術（駒喜多 学）
- 17 小野派一刀流（矢吹 裕二）
- 18 淺山一傳流兵法（関 展秀）
- 19 天然理心流（大塚 篤）
- 20 琉球古武術（井上 貴勝）
- 21 無双直伝英信流居合兵法（石本 一平）
- 22 直心影流薙刀術（谷口 克美）
- 23 双水執流小具足腰之廻組討（宇佐美 裕司）
- 24 戸山流拔刀道（中村 朋子）
- 25 天道流（木村 恭子）
- 26 無想神傳流拔刀術（小川 武）
- 27 夢想神伝居合林崎重信流詰合（関 展秀）
- 28 森重流砲術（長塚 正晃）
- 29 柳生新陰流兵法（梶塚 靖司）
- 30 神道無念流劍術（小川 武）
- 31 根岸流手裏劍術・白井流手裏劍術（苔米地 芳見）
- 32 澁川一流柔術（森本 邦生）

令和 8 年（2026） 5 月 5 日

白峯神宮 奉納演武順序

一、神道夢想流杖術／一角流十手術／一心流鎖鎌術  
(夢想権之助勝吉／権藤角衛門好正／念阿弥慈恩)

江角 和敏(東京都)  
 下間 頼和  
 朝比奈 辰樹  
 澤田 雄也  
 鹿野 幹也  
 青木 哲也

二、小野派一刀流劍術(伊藤一刀斎景久)

宮後 正一(東京都)  
 酒井 典一  
 笹森 章  
 笹森 香子  
 眞理 香

三、鞍馬流劍術(大野将監)

柴田 章雄(東京都)  
 柴田 章  
 松井 康一  
 柴田 彩水

四、荒木流軍用小具足(荒木夢仁斎源秀繩)

千葉 明(神奈川県)  
 千葉 葉

五、関口新心流柔術(関口弥六右衛門氏心)

関口 芳夫(和歌山県)  
 大山 正太郎  
 北口 貴裕  
 関本 一之  
 大野 泰之  
 大野 鳳

六、風傳流槍術(中山源兵衛吉成)

渡邊 桂一(神奈川県)  
 妻木 真亮  
 小熊 敏也  
 嶋田 昭志  
 梅元 義幸

七、神夢想林崎流居合術（北條甚助林崎平重信）

笹森 ゆき子（東京都）

宮後 正典  
酒井 章  
笹森 ゆき子  
笹森 真理香

八、夢想神伝流居合術（林崎甚助重信）

高橋 次秀（東京都）

高橋 公則  
毛利 理子  
清水 恵  
高野 雅一  
笠原 信吾

九、天真正伝香取神道流兵法（飯篠長威齊家直）

飯篠 宏太（千葉県）

荒成 祥司  
櫻井 弘  
近藤 俊也  
杉本 昇平

十、田宮流居合術（田宮平兵衛業正）

妻木 達夫（神奈川県）

妻木 達夫  
石川 定

十一、真蔭流柔術（今泉八郎柳定斎源定智）

宇佐見 裕司（埼玉県）

宇佐見 裕司  
瀬沼 健司  
左古 貴典

長野 孝俊  
公原 照博  
比嘉 宗平

十二、兵法タイ捨流（丸目藏人佐藤原長恵）

上原 エリ子（熊本県）

上原 エリ子  
山本 隆博  
田中 英樹  
品川 正和  
ゴムリア・ジュフリー  
松岡 慎也  
児玉 潤智

十三、立身流（立身三京）

加藤 紘（千葉県）

加藤 裕介  
江尻 敦

十四、細川家伝統兵法二天一流（新免武蔵守玄信）

宮田和宏（福岡県）  
宮吉田  
長富村  
篠田  
昭壯  
雅昭  
和

十五、無限神刀流居合術（武田惣角正義山本一刀齋）

平岡祥淑（静岡県）  
平岡  
磯部  
智力  
祥  
久夫  
淑

十六、宝蔵院流高田派槍術（宝蔵院覺禪房法印胤栄）

駒喜多学（京都府）  
富山  
山田  
柴田  
一忠  
治和  
和  
覚雄  
真直  
嘉和

十七、小野派一刀流（伊藤一刀齋景久）

矢吹裕二（東京都）  
粕井  
加藤  
渡邊  
岳  
誠  
樹

十八、淺山一傳流兵法（淺山一傳齋重晨）

関展秀（茨城県）  
関塚  
黒塚  
後藤  
長谷  
菅野  
山田  
植田  
彰  
裕大  
慧佳  
展  
秀  
久吾  
颯介  
輔大  
壺

十九、天然理心流（近藤内蔵之助藤原長裕）

大塚篤（茨城県）  
栗原  
助川  
吉田  
永田  
松素  
典哲  
真正  
篤  
（茨城県）  
大塚  
キム・ジャンヤル  
子弘也  
人徳

二十、琉球古武術

井上貴勝（東京都）  
山道  
楠宮  
正口  
一泰  
量  
弘也  
崇彦

二十一、無双直伝英信流居合兵法（林崎甚助重信）

石本一平（兵庫県）  
徳中石岡 秀恒 夫平

二十二、直心影流薙刀術（山田平左衛門藤原光徳）

谷口克美（香川県）  
大香大島 洲川林田 啓隆 栄典 子子子

二十三、双水執流小具足腰之廻組討（二神半之助正聴）

宇佐見裕司（埼玉県）  
左新馬 古井場 貴 真裕 典 悟郎 司

二十四、戸山流拔刀道（中村泰三郎）

中村朋子（神奈川県）  
阿高 部野 英弘 夫光

二十五、天道流（齋藤判官伝鬼坊）

木村恭子（東京都）  
井玉 上置 弼捷 子子

二十六、無想神傳流拔刀術（林崎甚助重信）

山財津 順出 辰仲 文子 巳上 恵子

二十七、夢想神伝居合林崎重信流詰合（林崎甚助重信）

小川武（東京都）  
大掛高萩 木川田崎 賢成一 彦男 昭

関展秀（茨城県）  
安関 生 和展 之秀

二十八、森重流砲術（森重鞆負都由）

長塚正晃（東京都）  
石原正 晃 林由佳 理智 藤沢文子 バクーシユ・アレキサンドル

二十九、柳生新陰流兵法（柳生石舟斎宗嚴）

梶塚靖司（栃木県）  
高橋慶太  
前田樹里

三十、神道無念流劍術（福井兵右衛門嘉平）

小川武（東京都）  
萩崎昭  
土屋正則  
中野雅彦  
掛川成彦

三十一、根岸流手裏劍術・白井流手裏劍術（根岸松齡）

苦米地芳見（東京都）  
関澤慧展秀  
黒澤

三十二、澁川一流柔術（首藤威之進満時）

森本邦生（広島県）  
内住信之  
堂元慎介  
原田淑子

### 古武道振興会沿革

日本古武道振興会は、昭和十年四月一日、松本学貴族院議員、小山松吉司法大臣、二荒芳徳伯爵等、当時の有識者と古武道各流派代表者が集まり結成されました。日本の誇るべき伝統文化財である古武道の衰微を憂い、その保存と振興を図ることを目的としました。昭和十五年四月四日には、財団法人の許可を受け多彩な活動を展開し大きな成果をあげてまいりましたが、終戦に伴う米軍占領下という事情もあり、財団法人を自主解散し、現在にいたる任意団体になりました。古武道振興の主旨は、日本の誇るべき文化財である日本武術の神髄を体得錬磨し、青少年に普及することにあります。「武は戈を止める」と申されております如く日常の武術修練によって得た心技体の実力をあくまで表面に示さず謙虚に余裕をもって自己及周囲を洞察する心と体を養うことにあります。その武の心を心として各流派宗家、師範を中心に毎年十一月三日の明治神宮の演武大会、伊勢神宮（式年遷宮年）、靖国神社、下鴨神社、白峯神宮、熱田神宮、等戦前に引き続き奉納演武が恒例となっております。

日本古武道振興会としては、活動の一環として古武道大会開催の他、流儀解説の普及にも努めてまいりました。昭和三十七年発行の機関誌「真鋭」第二号で各流儀の流祖伝系、演武者の経歴を掲載したのをはじめ、昭和四十五年には「真鋭」別冊で同じく流儀解説を紹介し、その後本格的な流儀解説書を創立四十六周年（昭和五十六年）に発行し、創立五十周年（昭和六十年）からは五年ごとに創立記念古武道大会を開催すると同時に、流儀解説書を改訂刊行してまいりました。平成二十七年七月十九日（日）には、創立八十周年記念大会を中野サンプラザホールにて開催。令和二年七月五日（日）には、創立八十五周年大会を伊勢神宮にて行う予定でしたが、コロナ禍の為中止。今後も古武道の益々の発展と隆盛を期して参ります。